

◎主な団体の活動状況一覧表

市町村	整備団体名	団体構成員等 (①会員数、②1回の活動人数)	団体や組織を継続する上の課題 (①資金確保、②安全確保、③事業継続、④その他)	意見・要望等 (①補助の継続、②補助の増額等、③機械の貸与、④獣害防止、⑤その他)
奈良市	NPOきゃんす家	①会員 19名(学生とOBが主体) ②活動1回当たり5~10名 なら人と自然の会、奈良市森林組合が支援	①資金確保(車使用時の交通費支払い1500円が負担) ②里山は急斜面のため素人の作業は非常に危険。 ④当事業の整備は4m近くもある笹の除去であり、雑木の間伐よりも過大な負担になっている。	⑤有益な事業であり、ボランティア活動が広告塔の役目だと理解しているため、広告塔としてもっと利用して欲しい。 ⑤広告塔として都市近隣の目立つ場所での里山林整備が必要だと考える。
	都祁の里山を守る会	①会員 11名 作業の主は作業技量のある6名	①資金確保が難しく、ほとんどが自前	②事業費の3~5割程度を前払いして欲しい。6月にはボランティア保険の前払いがあり、用具や消耗品の支払いも必要。 ⑤水間地区はPR効果に欠けるので21年度で最終としたい。
大和郡山市	NPOやまと新発見の会	①団体構成員 115名 ②活動1回当たり30人程度参加	①資金の確保 ②安全問題が最大の心配事。 ③新規の加入者が少なくメンバーが固定化	②活動の稼働率を高めるとコストがアップする。
生駒市	いこま棚田クラブ	①団体構成員 80名 会員 60名 ②活動1回当たり27.1人参加 (20年度定例活動52回 活動参加者のべ1,381人、特別活動39回 イベント参加者 2,346人)	①継続的な資金確保の活動 ②安全対策(安全研修への参加、ボランティア保険の付加、道具類の更新、夏場の作業時間の短縮等) ③団体の継続には新規性が必要(新しいものがないと人材確保ができない) ④新規箇所の確保が困難	①里山林整備の進行に伴い徐々に森に日が差し込み、事業継続の重要性を実感する。 ②イベントのバス代が有ればもっと来てもらえる。 ⑤地権者へのメリットが欲しい。
	生駒里山を守る会	①構成員 25名(森林大学OBが主) ②定例活動12名 ③森林ボランティア活動 6名	①資金確保 ボランティア参加者に交通費助成(大阪府下がほとんど)	①ボランティア志望者が通減し、年々参加者数が少なくなる。 ②単価当たりの予算運用は厳しい。 ⑤農家のご厚意で耕地を貸与され、野菜・米・そば・果樹の栽培も実施。 ⑤県もてなしのモデル地区に19年度に登録の運びとなった。
	いこま里山クラブ	①会員 65名(9割が退職者) ②定例活動35人以上(月1回) ③自主活動15人以上(月2~3回)	①資金確保 年会費と自主活動で一部受託作業受入 ③参加者確保 後継者(次期リーダー)の育成	①当事業は1年間のみの補助ではなく2年目移行の継続補助が必要。
宇陀市	向洲さとやま遊友クラブ	①団体構成員数 38名 会員 45名		②整備費用の増額。 ③チャッカーを使いたいが使えない。 ④獣害対策としての伐採に対する補助を検討して欲しい。
平群町	鳴川を守る会	メンバーは鳴川自治会 ①団体構成員 18名 ②活動1回当たり15名程度	①資金確保が難しい 飲み物は支給、弁当は1回のみ支給	①継続的整備が大変なので2年目以降の補助できないか ⑤自治会をあげて整備することは共同で山を守るという意識付けの良いきっかけ作りとなっている。
	平群里山クラブ	①団体構成員 110名(平群町、三郷町等) ②定例活動 10~15名程度 ③里山林事業 20~25名程度	①資金確保が難しいので松下産業と生協から助成道の駅にて竹炭販売	
斑鳩町	いかるがの里・自然クラブ	実施はNPO自然と緑の会員主体 ①登録会員 36名 ②里山林事業参加者20名程度	①交通費しか支給していない。	②1年間のみの補助ではなく2年目以降の継続的な補助希望 会議室使用料を積算したい。お弁当代も、イベント資材費も見て欲しい。
橿原市	虫いっぱい里山づくり隊	①団体構成員、会員 42名 ②里山林事業参加者5~10名	①資金確保、参加者確保が難しい	①2年目以降の補助ができないか。(前年度実施箇所の管理費助成)
桜井市	NPO山野草の里づくりの会	①正会員 40名 ボランティア会員 60名 ②里山林事業参加者8~25名程度	①資金の確保 ②刈払機やチェーンソを使用できる者の確保	②遠方からの参加者が多いので旅費を出せる程度の整備費を望む。 ⑤管理放棄された里山林が復旧することは大きな意義と喜びを感じる。
香芝市	グリーンボランティアならクラブ	①団体構成員 497名 ②里山林事業参加者4~20名程度	①資金の確保	②遠方からの参加者が多いので旅費を出せる程度の整備費を望む。
御所市	百体観音里山クラブ	①会員 25名 ②里山林事業 10名程度	③いかに継続した活動にするか	②整備費からの支出は保険代、飲み物代、燃料代 ⑤整備後の維持管理を今後どうするか、今後は不明。 ⑤今年で3年目を向えるが会員が一致団結しやる気は大いにある。
葛城市	竹内自然を愛する会	①団体構成員 20名 里山林事業 10名程度		②鋸は5年は到底持たないので替え刃が欲しい。弁当、飲み物については炭の販売収入で賄っている。
	山里を愛するものの集い	①団体構成員 20名 里山林事業10名程度(主になるものは5名)		⑤当地の歴史を検証する良い機会となっている。 ⑤自然を残しつつ布施城周辺の整備をしていく予定